

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成30年5月17日（木） 20時30分～22時30分

2. 開催場所：Shot Bar 周太郎（大阪府豊中市曽根西町3-5-33）

3. 関係団体等：なし

4. 役割

コーディネーター：中村征樹（大阪大学准教授・日本学術会議連携会員）

ゲスト：佐藤 志帆（同志社大学生命医科学研究科・大学院生）

5. 概要：

生物とはなんだろうか。水を張ったシャーレに油滴を落とし、アンモニアを浸した綿棒を近づけると、油滴が綿棒から逃げるようにして動いていく。条件を変えることで、油滴はシャーレのなかで周回運動をしたり、上下運動をしたりする。ゲストの佐藤さんは、その動きに生物らしさを感じるという。油滴の運動の仕組みはどうなっているのか、「生物らしさ」とはどういうことなのかをめぐって、参加者とやりとりしながらディスカッションが盛り上がった。

今回のサイエンスカフェには、生命科学や心理学などをバックグラウンドとする方も参加しており、参加者のそれぞれの視点から、「生物らしさ」についてさまざまな意見が交わされたことも印象的であった。



（写真は当日の様子。カウンター奥から話しているのがゲストの佐藤さん）

6. 参加人数：

講演者等：3名

その他の参加者：10名

7. 特記事項：

会場となった「Shot Bar 周太郎」には、サイエンスカフェの趣旨に賛同いただき、参加者に1ドリンク以上の注文をお願いすることで会場を無償で提供いただいたほか、常連客へのイベントの告知にも協力いただいた。また、ゲストのドリンクについてサービスしていただいた。